

第4回保健福祉審議会（令和5年3月14日）における委員からの意見一覧

R5.9.12 保健福祉審議会
資料1

ご意見	検討結果
<p>1 施策の前段として、地域付き合いの希薄化が見られたという、意識調査の結果を記載してほしい。</p>	<p>意識調査の結果概要の中で、区民意識の変化について、掲載する予定です。 【資料3】③主な調査結果（17ページ）参照</p>
<p>2 意識調査では、外国籍の方にも回答をいただいたので、調査結果をフィードバックする方策を考えてはどうか。</p>	<p>意識調査の結果を1ページにまとめた分析結果をホームページ上に直接掲載しました。 今年度ホームページの翻訳機能がバージョンアップし、121か国語への自動翻訳が可能となったことにより、同ページについても121か国語で閲覧が可能となっています。</p>
<p>3 柱の中に「コミュニティソーシャルワーク」という言葉があった方がよいと思う。</p>	<p>いただいたご意見に基づき、施策の柱立てを再検討いたしました。 重層的支援体制整備事業を一施策にせず、重層の各事業（包括的相談支援、参加支援、地域づくり等）を施策の柱にする形で再構築いたしました。 また、CSWの取り組みは、重層の各事業全てを行っていること、「地域生活支援の充実」の取り組み方針にあった「地域生活を支える切れ目のない支援」は重層すべてに関わることから、施策④にまとめて配置しました。</p>
<p>4 現計画施策④「地域生活支援の充実」にある取り組み方針は、重層的支援体制整備事業と重複する部分が非常に多いことをふまえ、施策の内容、見出しを再検討してほしい。</p>	<p>「地域生活支援の充実」の中にあつたその他の取り組み方針については、施策の2番目から施策の5番目に配置した重層の各事業に組み入れています。 【資料4】次期計画の体系図（案）施策①～施策⑤参照</p>
<p>5 次期計画には、電話帳のように、自分が知りたい情報元アクセスできる機能を附随してほしい。</p>	<p>電話番号等を記載すると、該当する各事業を掲載することとなり、各事業の共通の課題・方向性のみを掲載する本計画の主旨と異なることから、本編への掲載は見送らせていただきます。</p>

ご意見	検討結果
6 意識調査において、地域ごとの特性がみられたため、エリアごとに対策を考えていく視点も、次期計画に反映してほしい。	<p>地域保健福祉計画の中で、地域ごとの課題をそれぞれ掲載することは困難であると考えておりますが、地域ごとに課題を解決していける仕組づくりを推進していく方向性は示したいと考えています。</p> <p>具体的には、地域づくり施策の取り組みとして、地域の方たちで課題の共有、課題の解決を進めていける地域ごとにプラットフォーム作りを推進していく方向性を記載したいと考えております。</p> <p>施策②取り組み方針②および施策④取り組み方針②の具体的な内容で記載予定です。</p>
7 公助だけではなく、自助・共助も育てていく視点も、次期計画に入れてほしい。	
8 「我が事」として考えるための働きかけやプログラムが、次期計画の中に入ってくるとよいと感じる。	
9 従来からある活動（町会、お祭りの準備など）といったコミュニティとは違う新たなコミュニティづくりを検討してほしい。	
10 防災訓練に参加していない人も多いため、災害時に手伝ってくれる人は少ないという前提をもとに計画を策定した方がよいのではないか。	<p>都心部において、「我が事・丸ごと」という意識をいかに根付かせていくことは難しい課題と考えています。</p> <p>一方で、防災訓練などの災害対策は、区民の方にとって共通の課題として認識しやすい事象であるとも考えております。</p> <p>豊島区としましても、災害時要援護者対策を進めていかなければならないと考えております。</p> <p>災害時の体制整備というハード面に関する記載とは別に、避難訓練を通じた地域活動の支援等、重層に絡めた取り組みを記載したいと考えております。</p> <p>施策④取り組み方針①の具体的な内容で記載予定です。</p>
11 第三次健康日本21では、「地域づくり」が強調され、「自然に健康になれる環境づくり」、というキーワードが入っているが、そうした理念みたいなものも次期計画には重要な要素だと考えられる。	<p>健康日本21で掲げる「自然に健康になれる環境づくり」の要素の中にある「歩きたくなるまちづくり」は豊島区で進めている「ウォーカブルなまちづくり」という取り組みと合致しており、次期計画内でも、追記したいと考えています。</p> <p>【資料5】施策⑩取り組み方針① 参照</p>